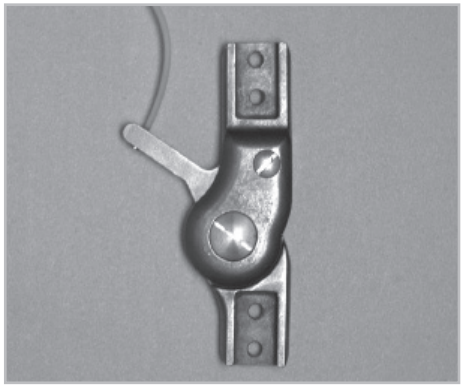
# オットーボック　カスタム装具　取扱説明書

## 17B23=K　モジュラー膝継手　ベールロック

**義肢装具士をはじめとする医療従事者の方々へ**

このたびは本製品をご採用いただきまして、誠にありがとうございます。本製品を安全にお取扱いいただくために、ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みいただき、使用される方に装着方法、使用上の注意、お手入れ方法などを必ずご案内ください。また取扱説明書は、必要な際にいつでも参照できるようにお手元に大切に保管してください。



### 【適応・用途】

『モジュラー膝継手 ベールロック 17B23=K』は、下肢装具用の膝継手パーツとして内側・外側一対で使用し、下肢筋肉組織の運動機能障害に対する支持・固定をします。

| | |
|---|---|
| ⚠ 注意 | ● 適応については、必ず医師の診断を受けてください。 |
| 注 記 | ● 本製品は、遊動機能もしくは背屈補助機能を有する足継手と組合わせて使用するように設計されています。 足関節固定の足継手と組合わせて使用した場合、 装具全体に負荷がかかることになり、部品の消耗を招きます。 |

### 【構造および構成部品】

**モジュラー膝継手　ベールロック　17B23=K　（図 1 参照）**

| | | |
|---|---|---|
| (1) | 30X59 | 膝継手上部パーツ |
| (2) | 30U88=Z | 膝継手下部パーツ |
| (3) | 513D19=3.8x16 | 圧縮コイルスプリング 3.8x16 |
| (4) | 17Y104 | ベールロック用上向きショートレバー |
| (5) | 17Y93=9x9.2xM6 | ベールロック継手用軸受 9x9.2xM6 |
| (6) | 501S32=M6x14x14 | 継手用ネジ M6x14x14 |

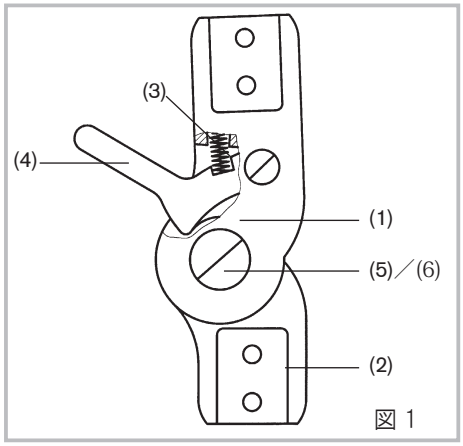


図 1

**付属部品（写真 1 参照）**

| | | |
|---|---|---|
| (7) | 501T7=7.5x9xM5 | フィリップス ヘッドネジ：8 個 |
| (8) | 21A18=2 | ペルロンコード（φ 2mm）：80 ㎝× 2 本 |
| (9) | 21A7 | ペルロンコード用カップリングパーツ：1 個 |
| (10) | 21A25 | カップリングパーツ用 バネ：1個 |
| (11) | 21A12 | スレッドスリーブ ショート：2 個 |

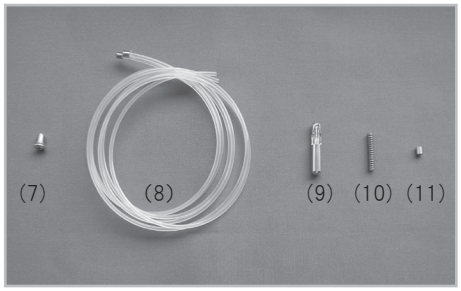


写真 1

※ 上記が納品時のパッケージ内容になります。

※ 長く安全にお使いいただくために、部品 (3) ～ (11) は交換ができます。
下記の点に留意してご発注ください。

- (8)21A18=2 ペルロンコード（ φ 2mm）は1メートル単位でのご注文となります。またコードのみですので、先端に 21A12 は付属していません。
- (8) 以外の部品の発注単位は 1 個になります。必要な個数でご発注ください。
- 交換用部品は、全てドイツからのお取寄せとなります。

### 【組立方法】

膝継手は、前足部のレバーアーム（踏返し部分）の長さや四肢の変形などにより非常に高い負荷を受けます。こうした負荷を軽減するためには、オットーボックのモジュラー支柱から適切なものを選択し、継手上下の連結部分にそれぞれを差込み連結し、アライメントの調整をしてください。

**支柱の連結方法**

① モジュラー支柱、もしくはラミネーション用の支柱を継手に差込んで固定させます。その際、奥までしっかりと差込めない場合は、支柱を削るなどして調整してください。

② 継手と支柱を連結部分で固定させるためには、必ず金属類に適した接着剤を使用してください。（『オットーボックの接着剤 636W28』については、オットーボック・ジャパンにお問合せください。）
接着剤を使用する前に、シンナーや溶剤などで連結部分の金属表面の脱脂処理を行なってください。

③ 接着主剤と硬化剤が入っている 2 本のチューブを混ぜ合わせ、継手の連結部分に塗付けます。

④ 各支柱を連結部分に差込み、『フィリップス ヘッドネジ 501T7=7.5x9xM5』でねじ止めします。

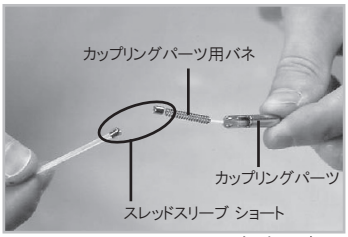
⑤ 接着剤が初期硬化するまで 3 ～ 4 時間　おいてください。さらに完全硬化するまでには約 16 時間以上が必要となります。

オットーボックのモジュラー継手とモジュラー支柱は、耐腐食性、耐酸性の鋼材で作られています。腐食しないようさらに保護するために、バフ研磨と艶出しで最終仕上げをし、表面コーティングすることをお勧めします。

**ケーブル組立・連結方法**

① 内外のロック解除レバーの先端の穴に『スレッドスリーブ ショート 21A12』を取付けたペルロンコードを通し、レバーに固定します。必要に応じて、別売の『ロックタイト 636K14』で補強することもできます。

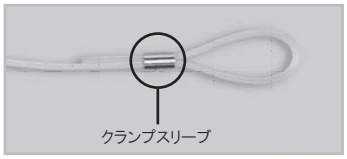
② ペルロンコードを必要な長さに調整した後、一方を『ペルロンコード用カップリングパーツ 21A7』の中に通し、『カップリングパーツ用 バネ 21A25』と『スレッドスリーブ ショート 21A12』を取付けます。もう一方のペルロンコードの端にも『スレッドスリーブ ショート 21A12 』を取付け（組立写真 1)、2 本を写真のように 連結 します ( 組立写真 2)。



組立写真 1

組立写真 2

③ 上記以外にも義肢のケーブル連結のように、別売の『クランプスリーブ 21A8 』を用い、ペルロンコードの端をループ状にして連結する方法があります ( 組立写真 3、組立写真 4)。



組立写真 3

組立写真 4

| | |
|---|---|
| ⚠ 注意 | ● 仮装具による仮合わせ時も含め、『圧縮コイルスプリング 513D19=3.8X16 (3)』は常に『膝継手上部パーツ 30X59 (1)』内に設置してください。<br>● 装着者が装具を使用する前に、両側の継手軸が並行に動くこと、またロックが安全にかかることを確認してください。装着者には、本製品の主要な機能および装着方法等について必ず説明をしてください。 |
| 注 記 | ● 素材が劣化するため、300° 以上の熱を加えないでください。また固定させた連結部分は熱加工しないでください。 |

**【お手入れ方法】**

製品を長く安全にお使いいただくために、下記の点に留意してお手入れをしてください。

| | |
|---|---|
| ⚠ 注意 | ● ロック機構の明らかな磨耗は、装着者の安全性に影響を及ぼす可能性があります。必要に応じて、ロック機構のパーツやボルトなどを交換してください。 |
| 注 記 | ● 6 ヶ月ごとに本製品の機能と使用状況を点検されることをお勧めします。『圧縮コイルスプリング 513D19=3.8x16 (3)』はこの 6 ヶ月ごとの点検時、または年 1 回、新しいものに交換してください。<br>● ロック機構が適切に機能するよう、継手の機構内に埃やゴミが入らないようにしてください。<br>● 必要に応じ、適した保護器具（例：継手用カバー）などをご使用ください。 |

**【メーカー責任】**

オットーボック社はメーカーとして、本取扱説明書で指定された取扱方法に従って製品を使用し、ならびに適切なお手入れ方法に従って定期的にメンテナンスした場合にのみ、その責任を負います。オットーボック社はまた、本説明書の指示に従って製品の定期的なお手入れと確認を行なっていただくことをお勧めいたします。

**【CE 整合性】**

本製品は欧州医療機器に関するガイドライン 93/42/EEC の要件を満たし、ガイドラインの付表Ⅸの分類基準により、医療機器クラスⅠに分類されています。オットーボックはガイドラインの付表Ⅶに則り、本製品が CE 規格に適合していることを保証いたします。（注）但し、日本においては本製品は医療機器の分野には分類されていません。

**お問合わせ先**

**掲載内容の無断使用禁止**

掲載されている内容、文章、画像については、無断で使用もしくは転載することを禁止します。

**輸入販売元**

**オットーボック・ジャパン株式会社** www.ottobock.co.jp

〒108-0023 東京都港区芝浦4-4-44 横河ビル8F TEL:03-3798-2111(代表) FAX:03-3798-2112

O-IFU-C-17B23=K-201304